



↑大会に出席した諏訪団長（左）と上田さん

★ 独自のスタイルで町を守る

全国大会で意見発表

2月17日、東京都港区の日本消防会館で全国消防団大会が開催され、長島町消防団（諏訪義則団長）が消防団地域活動表彰を受賞しました。これは、平常時の活動において地域防災力の向上に寄与した全国の模範となる消防団および団員確保について特に力を入れている消防団を表彰するものです。

大会中に行なわれた消防団員意見発表会で、浦底分団の上田正道部長が鹿児島県代表として出場し、日頃の消防団活動を通しての実体験を踏まえた「金髪・ピアスの消防団員」というテーマで発表を行いました。上田さんは「緊張したが県代表として全国の舞台上で発表できていい経験になった」と胸を張りました。

★ バレイショ畑の中を駆け抜ける

伊唐小ばれいしょマラソン大会

2月17日、伊唐小学校（永瀬孝志校長）でばれいしょマラソン大会が実施されました。

大会は、市民マラソンをイメージして横断幕やコース途中に給水所を設置するなど工夫を凝らし、集落とバレイショ畑の中を駆け抜ける4つのコースが設定されました。

全児童22人が参加して、新記録賞や自分で申告したタイムを目指すピタリ賞を目標に走りました。保護者や地域からも応援され、歯を食いしばって走る子や、友だちと笑顔を見せながら走る子などさまざまでした。

1年生の山坂優華さんは「ピタリ賞は取れなかったけど、気持ちよく走れてよかった。来年はピタリ賞を取りたい」とマラソンを楽しんだ様子でした。



↑大会に参加した児童ら



↑将来への誓いを立てた2年生の生徒ら

★ 将来への誓いを立て前進しよう

中学校で立志式

2月上旬、町内にある5つの中学校で、2年生を対象に立志式が行われました。

4日、自覚、立志、健康の大切さを再確認させ将来の誓いを立てさせることなどを目的とした長島中学校（新田薫校長）では、新田校長が「14歳は大人になったときの人生設計をする時期。ゆるぎない地盤を築いていくことが大切です」と励ましの言葉を述べました。

式の最後には、生徒らが一人ずつ壇上に上がり、色紙に書いた立志の決意を表す漢字一文字を読み上げ、将来のなりたい自分を大きな声で発表しました。

まちの話題